



石村 ^{し おん} 思穩さん(左) (大会時:大洲北中学校2年生)
出場種目 400m 自由形
京森 ^{わ か} 和花さん(右) (大会時:新谷中学校2年生)
出場種目 50m自由形

石村さんと京森さんは、3月27日(日)から30日(水)の間に東京都で開催されたJOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会に出場しました。石村さんは1月開催のJSCA新年フェスティバル大会、京森さんは2月開催のJOCジュニアオリンピックカップ県予選会でそれぞれ標準記録を突破し、大会への出場を決めました。

練習で意識していることを聞くと、「自分で筋肉の弱い部分を把握しながらトレーニングのメニューを考えている」(石村さん)「毎日何本も泳ぐが、特に一本目を大事にしている」(京森さん)とのこと。

大会で顔を合わすうちに仲良くなったという二人に今後の目標を聞くと「去年の四国総体では残念ながら3位に終わってしまった。今年は優勝しか考えていない」(石村さん)「今回の大会では緊張で思うような記録が出せなかった。この悔しさをバネに夏のJOCジュニアオリンピックカップでは必ずリベンジする」(京森さん)と意気込みを語りました。

HighSchool NOW

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

Vol.63 帝京第五高等学校

みなさんこんにちは。帝京第五高等学校3年の森平 ^{はると} 大翔です。

本校では、学習も部活動も全力で取り組める環境があり、さまざまな力を身につけることができます。

部活動(サッカー部・野球部・剣道部・女子バレーボール部)では、数多くの実績を残しています。

昨年度、剣道部は県大会で男女個人、団体全て優勝。今年3月に開かれた全国大会にも出場、女子バレーボール部は、県大会新人戦で第4位と好成績を残しました。

また、看護科(5年一貫教育)では、最短で国家試験の受験資格を取得することができ、普通科では、国公立大学・有名私立大学への合格をめざす「特進富士コース」があります。

2022年度から「BEAMS SCHOOL product by KANKO」ブランドの制服に変わり、3月には新学生寮「新荘英寮」が完成しました。

文武両道を目指し、生徒の夢を実現させるために、先生たちが全力でサポートしていただけることが、帝京第五高等学校の魅力です。私は、この学校で楽しく過ごせることに感謝の気持ちを忘れずに、日々生活しています。



リモート商談会を開催

3月23日(水)、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者に対しての外商支援対策として「リモート商談会」が開催され、大洲ええモンセレクトの認定を受けた6事業者が参加しました。商談会では首都圏の飲食店関係者に対し、オンラインで大洲の魅力ある食材のPRと商談を行い、商談相手は事前に届けられた商品を実際に飲食しながら、感想や提案を事業者伝えていました。



新しい野菜への取組

大洲市青年農業者協議会の会員である若手農家などによる新規作物（イタリア野菜）の定植作業が3月24日(木)におこなわれました。

今回、栽培に取り組むのは「ラディッキオ（トレビス）」という北イタリアでよく食べられている赤色の野菜で、抗酸化作用があり、サラダの彩りとして用いられることが多い品目です。この日定植されたものは5月下旬頃に収穫され、市内の産直市やスーパーなどに向けての出荷が予定されているとのことです。



明治安田生命保険相互会社と包括連携協定

3月25日(金)、市民の健康増進や市民サービスの向上を図ることを目的に、明治安田生命保険相互会社と包括連携協定を締結しました。この協定の締結により、健康づくりおよび健康寿命延伸、高齢者支援、地域の安全・安心、地域の活性化や市民サービスの向上などに関する4項目で、企業が持つノウハウを活用しながら、地域のさまざまな課題に官民協働で取り組んでいきます。写真：岸本正宏松山支社長（左）



つなぐ棚田遺産認定式

農林水産省が実施する、棚田を活用した地域活性化などの優良な取り組みを評価する「つなぐ棚田遺産〜ふるさとの誇りを未来へ〜」に榎谷地区（大洲市戒川）の棚田が選ばれ、3月25日(金)に認定式がおこなわれました。榎谷地区では棚田保存会によって棚田オーナー制度や棚田イベントを実施し、広く地域外から人を呼び込み、交流人口の増加や棚田のPRに努めていることが評価され、今回の認定となりました。





「^{が りゅう}臥龍の渡し」が運航中

3月31日(木)、4月から開始されている「臥龍の渡し」の、運航開始セレモニーが如法寺河原で開催されました。観光協会関係者が乗り込んだ屋形船は、臥龍山荘の風情などを楽しみながら肱川の流に揺られていました。この渡し船は、臥龍山荘から如法寺河原の約300mをコースとして、4月から5月の日曜・祝日、10時から15時の間で運航される予定です。

料金：大人500円 小人（小学生以下）200円



地域活性化起業人が着任

4月1日(金)、総務省が推進する「地域活性化起業人（企業人材派遣制度）」の活用により、株式会社ジャルセールスから小泉仁樹^{ひろき}さんが地域活性化起業人として大洲市に着任しました。

小泉さんは今後、観光まちづくり課に所属し、観光分野の専門知識や経験を活かした観光関連組織との連携によるインバウンド（外国人の観光・旅行）対策などに取り組んでいきます。



ATU棟

NIPPONIA HOTEL大洲 城下町 内覧会

城下町に残る町家や古民家などの歴史的な資源を宿泊施設などに改修して活用する「歴史的資源活用事業」の第3期工事が3月に完了し、4月11日(月)、16日(土)に内覧会が行われました。今回、改修により整備されたのは肱南地区（比地町・中町）の5棟8室の宿泊施設および店舗スペースで、「NIPPONIA HOTEL大洲 城下町」として4月21日(木)にオープンしました。これにより分散型ホテルとして22棟28室が整備されました。

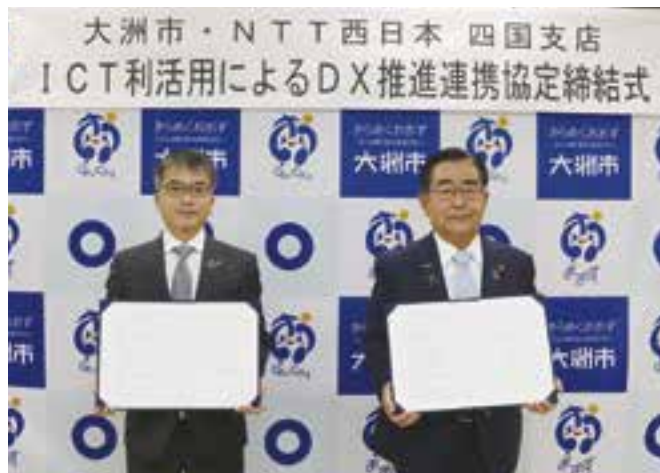
T A K E 棟



YUKI棟

DX推進連携協定を締結

4月13日(水)、大洲市が3月に策定した「DX(デジタル・トランスフォーメーション)推進計画」をより効果的に推進するため、西日本電信電話(株)四国支店とICT(情報通信技術)利活用によるDX推進連携協定を締結しました。この協定により、大洲市の進める施策に、西日本電信電話(株)の持つICTの知見や資源を活用し、「デジタルでみんなきらめく幸せ・安心・誇りあるふるさと大洲」の実現に向け、連携・協力していくこととなります。写真：立石篤志^{あつし}四国支店長(左)



肱川で稚鮎の放流が行われました

6月の鮎漁解禁を前に、稚鮎の放流が4月15日(金)に如法寺河原で行われました。

この日は5cmほどの稚鮎、約1万7千匹が用意され、肱川漁業協同組合や観光協会の関係者たちは「とにかく元気に大きく育て欲しい」と願いながら次々と川へ放ちました。

稚鮎は4月末まで数回に分けて、肱川をはじめ、河辺川や小田川などへ約33万5千匹が放流されました。



沖浦観音ご開帳

4月17日(日)、瑞龍寺^{ずいりょうじ}(長浜町沖浦)で国指定重要文化財である「木造十一面観音立像」のご開帳が行われました。新型コロナウイルスの影響により、福まきなどのイベントは昨年に引き続き中止となりましたが、春の穏やかな陽気の中、法要には多くの人が訪れ、手を合わせていました。副住職の木之本義道^{よしみち}さんによると、この時期には県外からも多くの人が参拝にくるとのことでした。



新たなALT(外国語指導助手)が着任

4月18日(月)、ALT(Assistant Language Teacher)として来日したCook Jonathan Dewi(クック・ジョナサン・デヴィ)さん(右)とMosquera Yuliena(モスケラ・ユリエナ)さん(左)が着任の挨拶に市役所を訪れました。デヴィさんは、イギリス出身で大洲北中学校をベース校として、ユリエナさんはアメリカ合衆国出身で肱東中学校をベース校として、市内の小中学校で英語教育に携わっていきます。



【キュウリとミニトマトのマリネ】



材料（2人分）

キュウリ	1本
ミニトマト	6個
玉ネギ	30g
タコ	70g
酢	大さじ2
オリーブ油	大さじ2
塩	小さじ1/4
コショウ	適量

A

作り方

- ① キュウリは、乱切りにし、軽く塩をまぶした後、水分をとる。
- ② ミニトマトはへたを取り、1/4にカットする。
- ③ 玉ネギは薄くスライスにして、水にさらす。
- ④ タコは茹でて、一口大にカットする。
- ⑤ ①～④をAで混ぜ合わせる

キュウリの栄養

夏野菜の代表で暑い季節に体をひんやり冷やしてくれます。カリウムを多く含んで利尿作用があり、むくみの解消が期待できます。体内から余分なナトリウムを排出し、高血圧予防に効果的です。



キュウリの保存「知っておくと得」

水分が多いので、乾燥しないようにラップにくるんだり、ポリ袋に入れたりするのが保存のコツです。低温になり過ぎないように冷蔵庫の野菜室で保存しましょう。

【レシピ提供：健康増進課】

私たちにもできる

SDGs



この目標は、「人と人、国と国との格差や不平等をなくそう」というものです。豊かな人とそうでない人との格差が急激に拡大し、豊かな人はますます豊かに、貧しい人は貧しいままという「格差の固定化」が進んでいるといわれています。

その格差が次の世代に受け継がれないようにするためには、人びとに平等な機会を得られるような法律や政策といった国や自治体レベルの取組だけでなく、私たち自身の行動も必要になってきます。

たとえば、国、人種、性別などそれぞれの違いを互いが理解することも不平等解消への大切な一歩です。

日本は豊かな国ではありますが、男女の性別の違いにより生じる格差を示す数値の一つである「ジェンダーギャップ指数」は世界的にみても低い順位のままとなっています。

まずは「お互いを認め合う」ことから始めて、一人ひとりがこの問題に取り組んでいきましょう。



文化財

安楽寺のモッコク
大洲市指定天然記念物
安楽寺所有



この木は、肱川町中居谷地区に所在し、栗太郎川左岸側の安楽寺境内にあります。樹高は約8.5m、樹齢は約600年と推定されています。枝張りは約10mで、四方にバランスよく枝がのび、こんもりとした樹冠が特徴で、モッコクの典型例ともいえる美しい樹形です。

安楽寺は、応永12（1405）年に溪壽寺（菅田町宇津）から照海千周和尚を開山に迎えたとされており、推定樹齢を考慮すると、この木は開山当初から根づいていた可能性もあります。

市内のモッコクとしては最長寿とみられ、また、樹形も美しく整っていることから、貴重な樹木といえます。

（昭和42年7月24日指定）